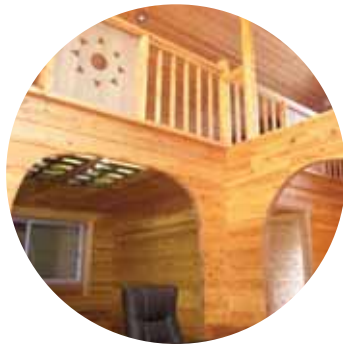




甲賀市信楽森林組合 / E  
J-pod 建築システム『信楽  
pod』<sup>1</sup>



日田郡森林組合 / F  
ログハウス



河内スティー爾 / G  
「ドノウレンジャー」<sup>2</sup>の吸  
水前(上)と吸水後(下)



東濃ひのき製品流通協同組合  
/ H  
『ヒノマル君』<sup>3</sup>を使った  
縁石

# 美しい森林づくりの推進 コンクールレポート

森林を健全に育て、多面的な役割を果たすために欠かせない間伐。

間伐の推進に向けて、今年も「間伐・間伐材利用コンクール」が開催されました。

今年の傾向や受賞した取組み・製品と共に、受賞者の声を紹介します。

## 美しい森づくりに向けた 間伐・間伐材利用コンクール

今秋、八回目となる「間伐・間伐材利用コンクール」が開催されました。日本の森林を健全に育て、国土の保全や水源のかん養、地球温暖化防止など、森林の多面的な役割を發揮させるために、間伐は欠かせない作業です。そして、間伐を推進するには、間伐材を積極的に利用し、生活に取り入れることが大切だと言えます。

「間伐・間伐材利用コンクール」は、間伐の実施や間伐材利用にかかわる斬新で効果的な取組みの普及を図るため、間伐推進中央協議会（森林・林業関連の十七団体）が主体となり、平成十二年度からスタートしました。コンクールは、三つの部門に分かれています。一つ目は、林業事業体における間伐推進や効果的な間伐実施などの取組みを対象とした「林業事業体による森づくり部門」。二つ目は、森林ボランティア団体などにおける間伐推進や地域活動など、社会的効果の高い取組みを対象とした「森林ボランティア団体等による森づくり部門」。そして、建築や土木、



株式会社とされいほく / A  
間伐実施後の森林



三次地方森林組合 / B  
森林所有者との座談会



森林ボランティア こにふぁ  
くらぶ / C  
間伐作業



名栗さわらび隊 / D  
きれいになった森林でひと休  
み

## 企業・団体が取組む

# 間伐・間伐材利用

### 受賞者一覧

#### 林業事業体による森づくり部門

林野庁長官賞  
株式会社トライ・ウッド（大分県）  
間伐推進中央協議会会長賞  
株式会社とされいほく（高知県） / A  
全国森林組合連合会会長賞  
三次地方森林組合（広島県） / B

#### 森林ボランティア団体等による森づくり部門

間伐推進中央協議会会長賞  
森林ボランティア こにふぁくらぶ（香川県） / C  
全国林業改良普及協会会長賞  
名栗さわらび隊（東京都） / D

#### 暮らしに役立つ間伐材利用部門

林野庁長官賞  
株式会社ノーリツ（兵庫県）  
間伐推進中央協議会会長賞  
甲賀市信楽森林組合（滋賀県） / E  
全国木材組合連合会会長賞  
津山国産材加工協同組合（岡山県）  
全国森林組合連合会会長賞  
日田郡森林組合（大分県） / F  
審査員奨励賞  
株式会社河内スチール・株式会社イーエムシーグループ（熊本県） / G  
審査員奨励賞  
東濃ひのき製品流通協同組合（岐阜県） / H

家具・内装などの間伐材を利用した製品や間伐材製品の利用を通して間伐推進を支援する活動を対象とした「暮らしに役立つ間伐材利用部門」です。十月一日には、木平勇吉東京農工大学名誉教授をはじめとする審査委員会が開催され、林野庁長官賞

二点ほか計十一点が決定しました。間伐の実施や間伐材製品を通して、各企業や団体が取組む美しい森林づくり。コンクールが開催されることで、企業や団体のさまざまな取組みとともに、間伐・間伐材利用の必要性が広く認識されることでしょう。

- 1 民間数社（イギリスを含む）及び京都大学で開発された木造新構法を活用し、間伐材の有効活用を図る建設システム
- 2 砂のかわりにヒノキのおがくず、デンプン、炭、保水等を入れ、災害時に水を吸収させることにより土のうとして活躍できる製品
- 3 芯の部分をくり抜き割れないように工夫したヒノキ間伐材のブロック

# 斬新でユニークな 間伐実施・間伐材製品が集結



上：林野庁長官賞を受ける株式会社トライ・ウッド代表取締役の井上伸史氏

下：シンポジウムでは森林整備について積極的な意見交換がなされました



## 平成十九年度の 応募作品の傾向

平成十九年度の「間伐・間伐材利用コンクール」の応募総数は、一五六件。全国の企業や団体から、間伐に関するさまざまな活動や間伐材製品が集まりました。

今年は例年に比べ、作業道等の路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的・効果的な間伐を推進している事業体から応募が多くありました。また、企業が社会的責任・CSR活動の一環としてウェブサービスなどを活用し、消費者と連携し、間伐事業に協力する新たな取り組みができたことも、今年度の大きな特徴と言えるでしょう。「暮らしに役立つ間伐材利用部門」で、林野庁長官賞を受賞した株式会社ノーリツでは、間伐材を使った入浴剤、エッセ

ンシャルオイル以外にも、ポイントサービス制度を導入し、会員保有のポイントの利用先を間伐事業協力金として寄付できる会員制ウェブサービスが高く評価されました（P7参照）。そして今、最大の課題である低コストな利用間伐が普及してきたことも、今後の特徴としてあげられます。林業の低コスト化が今後ますます普及し、森林所有者の負担の少ない森林整備が推進されることが期待されます。

## 森林整備シンポジウムにて 受賞式を開催

十月十九日、大分県別府市・ビーコンプラザで「森林整備シンポジウム2007 in おおいた」が行われました。林業関係者やNPO団体などが集まり、間伐等の森林整備についての情報交換を行うとともに、「間伐・間伐材利用コンクール」の受賞式が開催されました。受賞式には、各賞を受賞した企業・団体の代表者が全員出席。辻健治林野庁長官、国井常夫間伐推進中央協議会会長、全国森林組合連合会会長などからの表彰状と間伐材で作られた記念時計が手渡されました。

# 平成十九年度受賞者の声

本コンクールの受賞者を代表して、株式会社ノーリツ、株式会社トライ・ウッド、津山国産材加工協同組合に、取組み内容やその背景、今後の課題・展望などを伺いました。

## 暮らしに役立つ間伐材利用部門

### 林野庁長官賞

### 株式会社ノーリツ

この取組みを始めた背景は、企業イメージの向上と合わせ、弊社の製品ユーザーが会員となつているWEBサイトの会員様（現在約11万人）の満足度の向上にありました。当会員へアンケートを取つたところ、環境意識が高く、森林育成に興味をお持ちの方が多かったことから、ポイントサービス制度を活用し、間伐事業への協力を始めることになりました。会員様からの寄付ポイントと弊社からの協力を合算することで、消費者の方と一緒に間伐事業へ協力ができていると感じております。



CRM推進室長 浦上尚己さん

WEBサイトのアンケートにお答えいただくと、20ポイント（200円分）が加算されるのですが、ほとんどの方が全額を協力事業に寄付してください。この一年で、実に約3000人の方に協力いただきました。

もう一つ、間伐材を利用する知恵として、ヒノキのチップと精油を使った入浴材の開発をスタートしました。現在は木曽産を使用していますが、今後は間伐事業協力を行っている兵庫県篠山産のヒノキ間伐材を使った製品も提供することが課題です。「木曽産」、「丹波篠山産」とパッケージに産地を記載するのは商品としてもおもしろいでしょうし、事業協力の仕組みがわかりやすいかと思えます。

受賞したいという思いで始めた取組みではありませんので驚いていますが、賞をいただいたことはとても嬉しいです。今後もよりよい製品やサービスを提供し、地元・兵庫県と連携を取りながら、間伐への協力を進めていきたいと考えています。

- ・ 会員制WEBサービスでの間伐事業協力
- ・ 間伐材利用入浴材「FORESTSPA」  
「FORESTSPA エッセンシャルオイル」



製品ユーザーを対象とした会員制WEBサービスで、サイトのポイントサービス制度（1ポイント1円）を間伐事業協力金として活用できる機会を提供。平成18年度より、この寄付ポイントとノーリツからの間伐事業協力金を合算して、全国森林組合連合会を通じ、兵庫県篠山市・大山振興会保有の森林の間伐作業へ協力しています。

また、ヒノキの間伐材をチップにして、間伐材のヒノキの葉から抽出した精油と各種植物性エッセンシャルオイルで香り付けした入浴材「FORESTSPA」を販売。入浴材として使用した後もルームポプリとして使用でき、エッセンシャルオイルを加えることで、香りが長持ちします。

## 林業事業体による森づくり部門

### 林野庁長官賞

# 株式会社トライ・ウッド

弊社では、早くからハーベスタやフォワーダなどの高性能林業機械を導入して作業の集約化を図り、低コスト間伐作業システムの構築を行ってきました。平成十八年度には、高性能林業機械、高密度路網による列状間伐の作業システムづくりに取り組み、検証・分析を行ったことで選択肢が増え、さらなる低コスト間伐作業システムの実施が可能となりました。今までさまざまな取り組みを行ってきましたが、やっとそれを形にすることができたと感じています。



森林保全課課長補佐 佐藤川靖治さん

ハーベスタなどの林業機械の稼働率を上げるため、弊社の現場作業員は、現在七班に分かれています。各林業機械の稼働日数は、平均一八〇日。それぞれが安定した作業を進めることができるので、当地区の間伐実施面積は着実に広がりを見せました。

今回賞をいただいたことで、現場作業員たちが自分の仕事を誇りに感じられればいいと思っています。「間伐・間伐材利用コンクール」などを機に、一般の方が林業に対しての認識をもつことで、林業は今後もっと活気づくはずですよ。

そして、私たちは「各地域における林業再生」の方程式を確立していききたいと考えています。そのためには、われわれ森づくり班（森林保全課）は現場の作業システムの最適な形を追い求めながら、森林所有者の方と協働関係を築き上げたいと思います。「トライ・ウッドに委託してよかった」と言われるような低コスト間伐の実施に努めていきたいです。

## 低コスト間伐作業システムの構築



車幅 2.3 メートルの小型のハーベスタ「コンマ 25」を導入。ハーベスタのヘッドを約 10 分でバケットに交換できるよう改良し、作業路から造林までの作業を 1 台で実施し、機械の稼働率を高めています。

林業を中心とした循環型社会を維持するために、「育てる」から「使う」まで一貫した活動を展開。また、林業の現実を伝え、森林と人との関わりについて考える機会として、林業体験ツアーを開催しています。

間伐作業には、平成十二年度より林業構造改善事業によりハーベスタ、フォワーダの高性能林業機械を導入。これを機に、路網の整備を図りました。さらに、平成十八年度は高性能林業機械、および高密度路網による列状間伐の作業システムづくりに取り組み、現場に対応した様々な低コスト間伐作業システムを構築することができました。

加えて、低コスト間伐の必要性や実施成果の現地見学会などを通じて普及啓蒙することにより、路網整備に消極的な森林所有者の理解を深める活動を行っています。

暮らしに役立つ間伐材利用部門

## 全国木材組合連合会会長賞

# 津山国産材加工協同組合

「間伐・間伐材利用コンクール」へは今年度で三回目の応募になりますが、賞をいただき、とても光栄に思っています。平成十六年度に行われた岡山県農林水産部主催の「ユニバーサルデザインコンテスト」でも、弊社は木製ベンチで入賞した経験があるのですが、取り組みが認められるのはうれしいことです。

間伐材の中でもとくに「曲がり材」は、未利用のまま放置されているのが現状です。当組合では、この未利用材を高度に加工して付加価値を高め、台

形集成材を生産しています。今回賞をいただいた「リラックスチェア いねむりくんTH」の材料には、当組合で加工したヒノキの台形集成材を利用しました。

はじめは、ロッキングチェアのようなシンプルな製品を考えていました。しかし、もっと工夫ができないかと湾曲加工の特殊な専用機械を持つ木工所と相談したところ、このようなユニークなS字のイスが完成したのです。購入者の方が本製品をより便利で快適に利用できるように、ほかにまくらやクッション、サイドテーブルの製作も行っています。

現在、弊社では建築用材の生産が中心ですが、間伐の推進と間伐材の需要拡大を目指して、今後も、建築用材以外にもさまざまな製品の企画・開発・生産に努めていきたいと思っています。間伐材を有効に利用して、たとえばパーティションキットやイージーオーダー家具など、新たな商品の普及に取組んでいきたいです。



営業課長 馬場栄太郎さん

## リラックスチェア いねむりくんTH

ヒノキの集成材を特殊な機械で加工した、木製のリラックスチェア。S字状に曲げてあるため、カーブが体にピッタリとフィットします。重心を移動すると、自然に脚を上げて休憩できるので、脚のむくみ防止にも最適。また、この独特な曲線により微妙な体重移動でも敏感に反応し、ゆらゆらと心地よく揺れて、リラックス効果を得ることもできます。

イスの裏面には、指の巻き込み防止のレールがついているので、一般家庭や商業施設での普及も期待されています。



体にフィットするように作られた、いねむりくんTH